

2013年度活動報告 社会実証準備WG

2014年7月7日

社会実証準備WGリーダー SPAC 松岡 繁

1. 当初の活動計画

・方針：準天頂衛星初号機による利用実証を新テーマ創出しつつ継続推進し、さらに、今後打ち上げられる衛星を利用した社会実証活動に繋げる。

・活動内容：

(1). 利用実証・社会実証推進と要望纏め

QZS初号機“みちびき”から配信される補強信号“CMAS、L1-SAIF”を使った利用実証を利用実証調整会議（SPAC）と連携推進し、提言書（その1）に反映させる。

(2). 公開実証テーマの創出取組と推進

①メンバー相互の打合せを通してテーマ検討を進める。

②公開実証テーマとしては、車、鉄道、船舶、農業、測量等の多分野で、かつ複数の企業が参画、また、協議会外部の団体等と連携して推進することも考慮する。

③D.Project(種子島利用実証実験の推進)

(3). 実用化を見据えた実証用端末等整備の要請 [利用環境WGと連携]

①QZSS整備計画(衛星打上げ計画、データ配信計画、I/F仕様等を含む)

②測位受信機ロードマップ

2. 活動成果

WGとしての会合を4回実施した。また、10社の協力を得て企画支援チーム(会合3回)を作り、WGの運営支援体制を構築した。

(1). 利用実証・社会実証推進と要望纏め

アンケート、WG討議などを経て主に社会実証に係る要望事項を提言書その1へ反映。

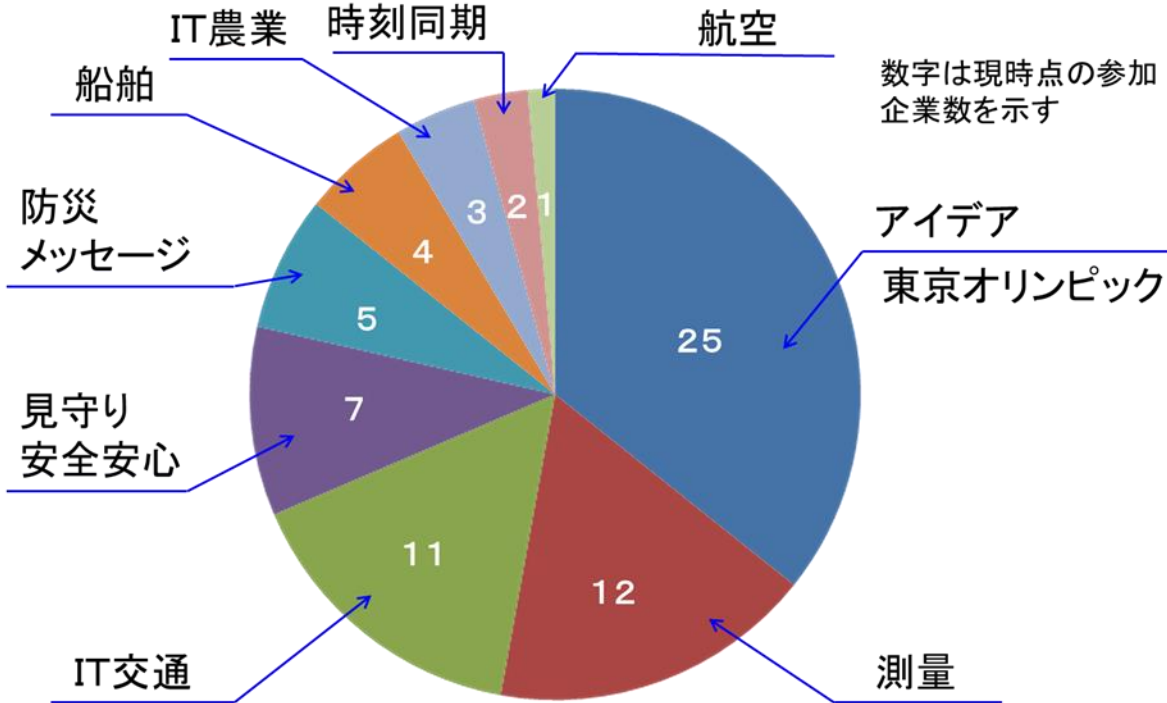
- ・民間開発成果の活用
- ・「みちびき」を利用した社会実証
- ・社会実証で必要な機器と情報開示

(2). 公開実証テーマの創出取組と推進

- ・利用実証テーマアンケートを実施34テーマをリスト化、統合化を推進中。
2014.3.31時点では**テーマ。測量、IT交通、見守り安全安心、防災メッセージ、船舶、IT農業、時刻同期、航空、“東京オリンピック・パラリンピック含む新テーマ創出”の9分野。
- ・D.Project(種子島利用実証実験)は10/25～11/4にかけ407名(計画300名)参加して実施された。詳細は別途報告。

(3). 実用化を見据えた実証用端末等整備の要請 [利用環境WGと連携] 種子島利用実証実験、SPAC利用調整会議で抽出された端末仕様等について纏めた。

実証テーマ検討状況



下記2テーマは具体的に活動開始

- ・山地森林実証実験
チーム：8社
(実験4/2,4/3)
- ・見守り・安全安心実証実験
チーム：4社
(実験3/2)

・新テーマ創出及び東京オリンピック・パラリンピックテーマ検討会議を20社参加して2014.3.27実施した。

参加要請分野として自販機企業、旅行代理店等の参画要請があり、現在調整中。

・企画支援チーム構成(2014.3.31)

アイサンテクノロジー；ニコトリンブル；防衛大学；スフェラーパワー；日本無線協会
シードプランニング；ヤマトシステム開発；日本ビジネステレビジョン株式会社 小川；

H25年度社会実証準備WG活動報告

	日程	主な議題
第1回会合	9月10日(火)	キックオフ WG活動計画等
第2回会合	10月 2日(水)	アンケート状況報告・テーマ討議
	～(12月18日(水))	実証テーマ検討→テーマリスト化→ブラシアップRev2.0
	11月 11日(月)～	QZSSに対する要望事項#1(案)公開～修正
	12月4日	テーマ検討会議#1
(企画運営委員会)	11月21日(木)	QZSSに対する要望事項#1まとめ
第3回会合	12月18日(水)	社会実証テーマ検討・今後の検討打合せ
*		個別テーマ検討
第4回会合	3月 4日(火)	社会実証テーマ検討・提言書#1まとめ状況報告他
*	4月 8日(火)	WG年次報告・次年度計画予備検討 ⇒結果は社会実証準備WGメンバーにメールで意見抽出 企画運営委員会報告に反映 4月24日
第5回会合	5月14日(水)	年次報告・次年度計画
(総会)	7月7日(月)	年次報告・次年度計画

* : 企画支援チーム

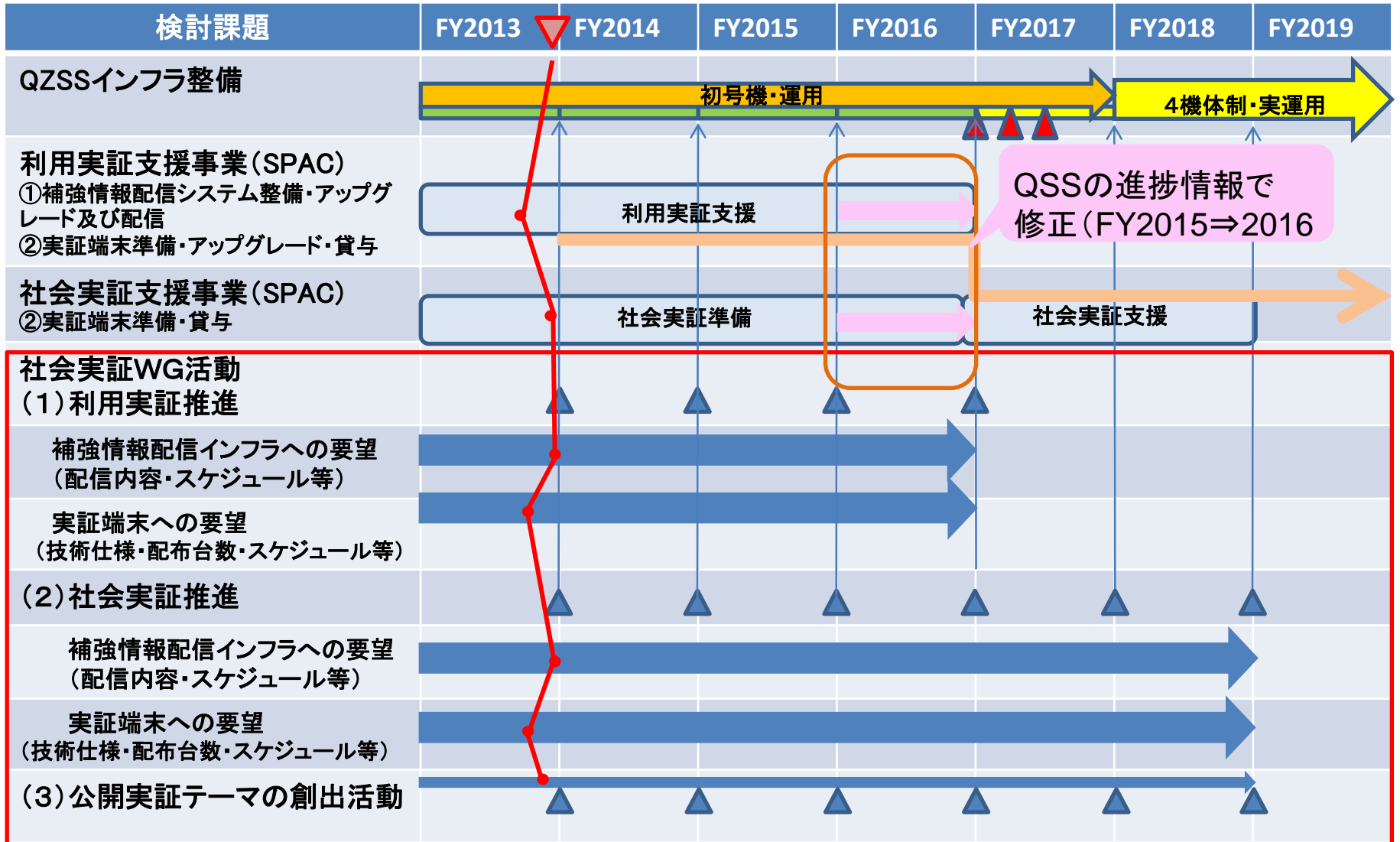
2014年度活動計画 社会実証準備WG

2014年7月7日

社会実証準備WGリーダー SPAC 松岡 繁

社会実証準備WG活動マイルストーン

進捗状況2014.3.31



2014年度活動計画

1. 参加企業・団体間のスキルレベル合わせの実施
 - ・公開利用実証会議を開催しQZS効果を体感・検証する場を設ける 2014年秋を想定
2. 公開実証テーマの創出活動の定例化
 - ・提案頂いたテーマのブラシアップ(定期的な発表等)
 - ・新テーマ及び東京オリンピック関連テーマの深耕
 - ・イベントテーマの創出(ロボットカーコンテスト等)
 - ・各WGと連携(情報の共有化)
3. 補強信号配信・受信端末*の要望事項検討
 - ・分野毎の検討(WS、他WGと連携)
4. 提言書(その2)の作成(他WGと連携)

*:受信機の要望等については利用実証経験者を中心にアンケートを実施し纏めてゆく(期限6月末)

